

今月のトピックス

- ・新年度へ向けて、発進 ……《新年度産業部関連補助制度概要》
- ・プロジェクトの進化を振り返る …《鹿角ブランドアップ戦略レポート》
- ・産業の地産地消が今後のカギに …《ブランドアップ関係機関団体代表者会議》
- ・双方向の理解が導くブランドの未来 ……《室長コラム》

平成25年度 産業部関連補助金のご紹介

平成25年度の鹿角市産業部（商工振興課、観光交流課、農林課、産業連携推進室）補助金制度の中から主要なものを抜粋してお知らせします。このほかにも補助制度がございますので、お気軽に産業連携推進室（電話30-0264）へお問い合わせください。

No.	名称	制度概要	対象者	補助対象経費	補助率	補助上限等	その他	受付時期
1	農商工観連携ブランドアップ事業費補助金	複数の事業者がその連携のもとに実施する、本市の資源を利用した新商品やサービス等の研究開発事業・販路促進事業を支援します。	他事業者との連携のもと新商品開発等を行うとする方	研究開発費／販路促進費	1/2以内	150万円	効果が著しいと認められる事業は2,000万円を上限補助額とします。	随時
2	地域資源・経営ブランドアップ事業費補助金	本市の資源を利用した新商品やサービス等の研究開発事業・販路促進事業を支援します。	新商品開発等を行うとする方	研究開発費／販路促進費（／事業拠点費／免許等取得費）	1/2以内	50万円（150万円）	中小企業新事業活動促進法に基づく「経営革新計画」の承認事業は、（ ）を適用します。	随時
3	元気な農業者・ステップアップ事業費補助金	農産物の加工等による付加価値生産や直接販売を行うなどの取組み（6次産業化）を行う農業者を支援します。	認定農業者、農業者団体等	①直売施設等整備経費 ②加工施設整備経費 ③その他体験施設等整備経費	1/2	100万円	事業の採択にあたっては審査が行われます。	随時
4	青年就農給付金	就農直後の独立・自営農業を行う方に対し、青年就農給付金を給付します。	就農時の年齢が45歳未満の独立・自営就農者、人・農地プランへの位置づけがなされているまたは見込まれる方。			年150万円（半年ごとに75万円） 夫婦で対象となる場合は1.5倍		随時
5	商店街店舗リニューアル支援事業費補助金	商店街の店舗を営む方が実施する、店舗のリニューアル整備を支援します。	市内の商店街で店舗を営む方	改装費／備品購入費／宣伝広告費	1/2以内	50万円	整備内容について、事前に商工会等に相談していただきます。	随時
6	再就職緊急支援奨励金	事業主都合で平成24年6月30日～平成25年6月29日の間に解雇された市民を、平成25年6月29日までに雇用した事業者（鹿角市・小坂町・大館市）に対し、奨励金を支給します。	非自発的離職者（鹿角市民）を雇用した事業者		定額	30万円/人	雇用保険の対象で、期間の定めがないかまたは年以上の継続を前提とした雇用が対象です。	雇用日から3ヵ月経過後
7	商談会等出展支援事業費補助金	市内製造業者等が実施する、新市場または販路拡大のための県外または国外での商談会、展示会、見本市への出展を支援します。	市内の製造業者	出展料／展示装飾費／各種工事費・使用料／人件費／現地通訳費／商標登録費（海外出展時）	1/2以内	①10万円 ②50万円 ③80万円	①国内（単独出展） ②国内（連携出展） ③海外出展	随時
8	あきない商店街支援事業補助金	商店街活性化のための販売促進事業、集客力アップのためのイベント事業、調査研究活動を支援します。	商店街活性化につながる活動を実施する団体	事業実施に係る経費	1/2以内	50万円		事業着手に係る1ヵ月前まで

鹿角ブランドアップ戦略レポート + プラス 平成24年度のまとめ

コミュニティFM プロジェクト



8月30日に行われた
県防災訓練での災害ミニFM

「コミュニティFMを通じて、いろいろなモノ・ヒト・情報が出逢って笑顔につながり、活力のある安心・安全なまちの創造に寄与したい」鹿角コミュニティFM開局準備チームではこのコンセプトに基づき、平成25年度開局を目指し活動して参りました。現在は、開局申請書類の作成も大詰めを迎え、夏頃に開局する目処が立ちました。地域密着型の運営と放送を通じて色々な人から「鹿角」に興味を持ってもらい、「再発見」し、市民の皆様の交流が生まれ、楽しむ事が出来る番組制作、そして災害時でも放送できる体制を整え、末永く地域の皆さんに愛される、鹿角らしいコミュニティFM放送局をつくっていきます。これからも皆様の応援よろしくお願いいたします。なお、毎週木曜日午後8時30分から放送しているツイキャス動画配信は、4月より月2回、第2・第4の木曜日放送となります。こちら



木曜日夜8時に
ツイキャス動画配信

も応援して下さい！

桃 花 プロジェクト

今年度の桃花プロジェクトでは、3回のワークショップ（WS）を実施することができました。昨年度に引き続き、参加メンバーの連携のもと「かづの北限の桃」加工品の開発・改良をメインに取り組みが進められ、新商品の発売や商品の磨き上げに繋がっています。



佐藤さんの缶詰加工では、岩船屋さんの協力のもと、プルトップタイプ缶詰、使用品種の検討が行なわれました。安保食品さんの桃めんは、市内スーパーでの販売に至っています。浅利佐助商店さんでは、クロマント倶楽部さん、岩船屋さんとの連携のもと、焼肉のタレなどが開発され販売に至っています。レディースファームさんでは、ハードタイプゼリーの開発も進められています。このほか、メンバーそれぞれで多くの取り組みが進められています。

課題となっている天然由来の「桃らしい芳香」をいかに引き出すかという点は、次年度も引き続き検討をすすめます。また、次年度は観光の取り組みも、WSで考えていきたいと思っています。



浅利佐助商店
北限の桃たれ

【鹿角ブランドアップ戦略レポート】

米粉プロジェクト

「米粉プロジェクト」から
「しこっ魂きりたんぼの里」プロジェクトに発展！

戦略の主要プロジェクトの一つとしてスタートした本プロジェクトは、戦略策定のメンバーであった平和軒・駒木洋武さんをリーダーとして、製麺事業者、菓子店、飲食店、生産者、デザイン事業者、関係機関・団体など多くの方々が連携しながらプロジェクトを進めています。その過程でメンバーから、“米どころ鹿角”の特徴をより活かすため「米粉」だけではなく、米を原料とした加工品や米自体も含めた広がりや波及効果の高いプロジェクトとして活動を展開したいとの声が挙がり、現在では、米・米加工品も含めたプロジェクト（しこっ魂きりたんぼの里プロジェクト）へと発展を遂げています。



プロジェクトリーダーの
平和軒・駒木洋武さん

PR・販売体制の構築とブランド定着！

これまで、かづの産業見合市や東京展示会等でのPRや販促活動を通し、ブランド化を進めてきましたが、今後は、ウェブや展示会、イベント等でのPRや販促活動を一層強化しながら、持続する販売体制の構築と統一ブランド定着の活動を進めてくことにしています！



市内スーパーで販売されて
いるプロジェクト商品

～ 煌めく女性のスキルアップを応援！～

「女性による、女性のためのビジネスセミナー」を開催しました！

依然厳しい経済環境の中、少しずつニーズが強くなっている「女性の起業・創業」。自分のやりたいことやスキルを活かしたビジネスプランを形にし、企業や社会に貢献したいという女性が増加しています。このような背景のもと本地域では初の試みとなる女性を対象にしたビジネスセミナーを2月27日(水)、かづの商工会で開催しました。



講師の岡本美津子氏

講師には、昨年9月に農商工プラットフォームスクエア・デリカフェ(東京都千代田区)で開催した「鹿角まるかじり会」で鹿角の魅力を知って頂き、ご自身も昨年11月に起業された社団法人ウィメンズメンターバンク理事・岡本美津子氏を招へし、起業するまでの経緯や女性の目線で女性ならではの考え・思いを形にするヒントなどを交えてご講演頂き、その後のキャリアケースについてのワークショップでは終始和やかに議論が繰り広げられました。

セミナーに参加された方々からは「仕事だけではなく家庭や普段の生活でも応用できそう」「励みになった」「同じ地域で頑張っている女性同士がもっと交流できる機会が欲しい」「今後も継続して開催して欲しい」といった感想が寄せられ、こういった機会を通して女性のビジネスチャンスを生み出し、鹿角地域の「頑張る人」「頑張る企業」の底上げを図るとともに、助成金や補助制度などのサイドメニューを活用しながら「こうなりたい!」というイメージの実現化に結びつけていく必要性を強く感じました。

また、地域内で女性リーダーが増加していけば、これが「事例」となりこのアクションを参考にした女性起業家や二次創業等の創出につながるものと信じています。

第3回 ブランドアップ関係機関・団体代表者会議を開催しました



9つの関係機関団体の代表者が一同に

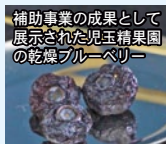
3月13日(水)に今年度3回目となるブランドアップ関係機関・団体による代表者会議を開催しました。鹿角市長をはじめ、県鹿角地域振興局、鹿角工業振興会、かづの商工会、JAかづの、鹿角森林組合、鹿角金融団、十和田八幡平観光物産協会、県畜産農業協同組合鹿角支所の計9団体の代表者のご出席のもと、今年度の成果報告や産業連携の方策についての意見交換を行いました。

会議では、ブランドアップ戦略の中で、主要プロジェクトに位置付け



られている「米粉プロジェクト」「桃花プロジェクト」「コミュニティFM開局支援」の進捗、成果について報告を行いました。その他、ブランドアップ補助事業の成果報告とプラットフォーム戦略室(商工会内)スタッフによる農商工観連携の推進、起業家支援及び起業教育推進の事業に係る成果報告を行いました。

これらの報告を受けて、各代表者の方より産業連携の推進や産業の地産地消に向けての意見が出され、産業連携に向けたプラットフォームの整備、事業支援のあり方、重要性について、来年度に向けて再認識がなされました。



補助事業の成果として
展示された児玉果園
の乾燥ブルーベリー



会場に展示されたブランド
アップ補助事業の成果品

つぶやき～コラム～

「正直に腹を立てずに構(たわ)まず励め」青年将校らに率いられた部隊が「昭和維新」を掲げて首都を占拠した二・二六事件。その抗争の中で瀕死の重傷を負い、後の終戦直後に総理大臣を務め、ポツダム宣言受諾に道筋をつけた「鈴木貫太郎」の言葉である。

最近、その現場にまさに立ち会った妻たちが昭和40年に氏の地元の若者達の新年会の席で語ったテーブが見つかり、その中でも「たとえ狭い小さな日本であっても、日本人として世界に立って、少しも恥じないというのは、やはりその、正直に腹を立てずにたゆまず励め、これが鈴木氏の皆さん

にお願いする一つの新年の希望だろうと思いますから…」と語っている。昭和40年は、奇しくも我が誕生の年でもあり、自分が言われているような気がして、心に響いた。「腹を立てずには、他人との違いを相手の側からも見られるということでもある」と解釈を加える著名人もいるが、まさにニーズを捉えた商品開発もその通りである。そしてこの言葉は、究極の施策とも言っても過言ではない「地域ブランド」の確立を進めるための大命題でもあった。「たとえ小さい鹿角であっても、鹿角人として…」

さあ、新年度が始まる。世界に立つという気概をもち「ポツダム宣言」を受けないよう突き進もう!! (ブラードル)



ヒト・モノ・ワザ情報
お待ちしております!